# 事\_務事業評価表

1~11までは、担当課による評価

記入年月日

HO/ ( 1/3 H					
平成15年度	事業コード	33122	電話	042-769-8249	
担当部課名	都市部    ▼	都市交通計画	課 ▼	交通計画	班 ▼
事務事業名		相模線複線化等促進期	服同盟会	:負担金	

1 総合計画における位置づけ

政策名	▼第	3	章	利便性の高い公共交通網の確立をめざします	事業開始年度
基本施策名	第	1	節	利便性の高い公共交通網の確立	9 <b>▼ 年度</b>
施策名	第	2	施策	利便性の高い公共交通網の整備	ˈˈˈ

### 2 実施根拠及び関連法令等

3 事務の区分 4 経費の区分 5 事務事業の分類 6 受益者負担 目治事務 ▼ その他の経費 ▼ 県市協調事業 ▼ なし ▼

# 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか (2)対象(誰、何)

神奈川県及び相模線沿線市・町等を構成員とする「相模線複線化等促進期成同盟会」を 相模線複線化等促進期成通じ、相模線の複線化に向けた活動を積極的に行う。最終的には、相模線複線化を実現 同盟会する。

対象数数

## (3)平成14年度事業の内容…市が実際に行った事業の内容 |

|要望活動の実施 年2回実施(9月、3月)

要望先 県下選出国会議員 15名 国土交通省 24名 JR東日本 1名 相模線沿線ハイキングの実施 開催日 平成14年10月12日 コース 座間コース 参加者 559名 相模線沿線写真コンテスト写真展の実施 開催日 平成14年10月12日(ハイキングと同時開催) 場所 座間市役所

(4)個別計画の概要概要計画名年度~

# 8 評価指標…事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	扌	旨標の	推移(	年度)	)
	相模線沿線八	各年度ハイキング参加者数	ハイキングの参加者数をもって、沿線地域は足への同盟会	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6
成果指標	イキング参加 者数		て、沿線地域住民への同盟会 活動の周知状況の指標とする	513	506	559	580	600
活動指標	にかかる会議	各年度同盟会活動(要望活動、幹事会、推進会議等)への延べ参加人数(関係機関の参加者数を含む)	同盟会の運営にかかる会議等 への延べ参加者人数をもっ て、活動状況の指標とする	174	191	191	190	190

#### 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

		平成12年度 平成13年度		平成14年度	平成15年度	平成16年度	
		決 算	決 算	決 算	予算	予算 (見込み)	
事	決算 (予算)額	100	100	100	100	100	
	人員・時間数	0 . 4人・年	0 . 4・年	0.3・年	0.3・年	0.3・年	
業	人件費	3,356	3,356	2,517	2,517	2,517	
١	その他経費						
費	合 計	3,456	3,456	2,617	2,617	2,617	
!	持定財源						
	対 象 数	1	1	1	1	1	
対	象の単位あたり経費	3,456.0	3,456.0	2,617.0	2,617.0	2,617.0	

10 個別評価 (1)達成度 ・成果指標の達成度 中 低 A:達成している 哮 高 チェック 評価 B:一部達成していない 活動指標の達成度 中 低 ⊽ 高 П П 項目 C:達成していない ・事業目標の達成度 中  $\overline{\mathsf{v}}$ 低 П 高 П В 説明 (2)必要性 ・市民や社会のニーズにかなっている A:適応している B:一部適応していない ・状況の変化(対象や内容)に対応している チェック 評価 項目 C:適応していない  $\nabla$ ・当初設定した事業目的が達成されていない ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある A -説明 (3)有効性 ・上位の施策、計画目的達成のために有効である A:有効である  $\overline{\mathbf{v}}$ チェック項 評価 目 ・期待された成果が得られている B:一部有効でない C:有効ではない -説明 (4)効率性 ▼ 予算や人員に見合った効果が得られている A:優れている B:一部改善の余地がある ・他市と比べてコストや効率性が優れている チェック 項目 評価 C:改善の余地がある ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている  $\nabla$ ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない В 🔻 説明 (5)公平性 ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である A: 公平である チェック項 B:一部公平でない 評価  $\overline{\mathbf{v}}$ ・受益者の費用負担は適正である 目 C:公平でない ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)  $\overline{\mathbf{v}}$ A -説明 成果向上の余地 事業費削減のために取り得る手段と削減額 ☑ ある 相模線複線化に向けた取り組みについて、そ 手段 の必要性や現在の取り組み状況などを、さらに 口ない 効率的に周知していくための事業手法を考え る余地があると思われる。 千円 削減額 11 総合評価 他目治体の類似事業との比較 AΑ 評価 今後の進め方 継 続  $\overline{\mathbf{v}}$ 総合評価に関する説明

12 二次評価コメント

見 直 し

完了·廃止済

廃

止